

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	公衆衛生学				
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	保健師	実務経験	実務経験あり		
科目目的	公衆衛生に関連する統計情報をふまえ、組織的な保健活動について理解する。				
学習目標	1. 公衆衛生の概念、しくみ、歴史、現状を理解し、グローバルな視点で公衆衛生の在り方を考察できる。 2. 公衆衛生分野における看護職の役割を理解できる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	オリエンテーション 1. 公衆衛生の概念と歴史			講義
	2	2. 集団の健康とらえる手法 疫学・保健統計			講義
	3	3. 公衆衛生上重要な感染症とその対策			講義
	4	4. 地域における公衆衛生			講義
	5	5. 学校と健康 学校保健、学校保健の展開、養護教諭			講義
	6	6. 職場と健康 産業保健活動の実際			講義
	7	7. その他 健康危機管理・災害保健 全体のまとめ			講義
	8	筆記試験			
使用教材	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版				
参考文献	公衆衛生がみえる メディックメディア				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		社会福祉				
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	1年次	履修時期	後期	
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間	
担当教員	介護福祉士	実務経験	介護福祉士実務経験あり			
科目目的	社会福祉と医療・社会保障の関連及び社会福祉行政について理解する。					
学習目標	社会保障・社会福祉の制度やそれを担う体制、社会福祉行政の関連について理解するとともに、その活用について学びを深め、臨床現場で必要とされる他職種との連携に役立てることができるようになる。					
授業計画	回	授業内容			授業方法	
	1	オリエンテーション 1. 社会保障制度の概要と体系			講義	
	2・3	2. 社会福祉と法制度			講義	
	4	3. 社会保障・社会福祉の動向と課題			講義	
	5・6	4. 生活を支える保障制度(医療・介護・所得)			講義	
		1)医療制度			講義	
	7・8	2)所得保障			講義	
	9・10	3)公的扶助			講義	
	11	4)介護保障			講義	
	12	5. 生活保護制度と生活困窮者への支援			講義	
	13・14	6. 社会福祉の分野とサービス 高齢者福祉、障害者福祉、児童家庭福祉			講義	
	15	試験			試験	
	使用教材	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版 3. 社会福祉士 国家試験ナビ2018				
	参考文献	1. 介護福祉士国家試験受験ワークブック 中央法規 2. 新・介護福祉士養成講座 社会と制度の理解、介護の基本 I・II 中央法規 他				
	成績評価の方法	筆記試験				

(西暦)年度 釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		看護と医療安全			
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	医療安全管理者	実務経験	看護師実務経験あり		
科目目的	医療安全の基本的知識や看護職の責務と役割を理解し、看護実践場面における危険の予知と回避及び事故防止などの安全対策のスキルを習得する。				
学習目標	1. 医療安全の基本的知識や、看護業務の範囲や責任について学ぶ。 2. 事故防止のに向けた安全対策を遂行するうえで、ヒューマンエラー、システム、コミュニケーションの考え方を学ぶ。 3. 事故報告の意味と必要性を学ぶ。 4. リスク感性を向上させるために、危険予知できる知識と技術を身につける。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	1. 医療安全対策の始まりと変遷 2. 医療安全における看護の倫理と責任 1)看護学生に求められること 2)医療安全文化の醸成			講義
	2	3. リスクマネジメントの関連用語 ハインリッヒの法則、ヒューマンエラー、スイスチーズモデル インシデント・アクシデントなど			講義
	3	4. 医療安全とリスクマネジメント			講義
	4・5	5. 事故発生メカニズムと原因分析 実際の事件事例と対策			講義
	6	7. 医療安全に活かすKYT 1)KYTとは 2)事例を用いたKYTの体験 3)次回演習に向けて個人ワーク			講義・演習
	7	4)紙上事例を用いたKYT グループワーク 5)グループワークの結果について意見交換 学びの振り返り			演習
	8	試験			
	使用教材	<<テキスト>> ①医学書院 系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践② ②医学書院 医療安全ワークブック 第4版 <<視聴覚教材>> ③クリニカルKYT 第1部 クリニカルKYTのすすめ方・いかし方 安井電子出版 24分			
参考文献	①医学書院 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 ②MCメディカ出版 ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全				
成績評価の方法	筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%				
科目の発展性、勤労者医療との関連					

(西暦)年度 釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		関係法規			
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	2年次	履修時期	後期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	副校長/学校事務長	実務経験	実務経験あり		
科目目的	医療・看護を取り巻く法について理解し、健康な生活を維持するために必要な法令を学ぶ。				
学習目標	1. 看護師に関わる関係法規について理解する。 2. 法の概念や法規を学ぶ必要性について理解する。 3. 保健・医療・福祉に関連する法規について理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	単元:看護と法令 担当:副校長 1. 看護政策と法律			講義
	2	2. 保健師助産師看護師法について 3. 保健師助産師看護師法以外の看護関係法令			講義
	3	単元:保健・医療・福祉に関する法令 担当:事務長 4. 法の概念			講義
	4	5. 医事法と薬務法			講義
	5	6. 保健衛生法			講義
	6	7. 社会保険法			講義
	7	8. 福祉法 9. 労働に関する法律			講義
8	試験				
使用教材	<<テキスト>> ①医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令				
参考文献					
成績評価の方法	筆記試験、課題の取り組み、授業態度を含めて総合的に評価する				
科目の発展性、勤労者医療との関連					

(西暦)年度 釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		健康教育技法			
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員	実務経験	看護師実務経験あり		
科目目的	疾病をもった、又は発症のリスクのある勤労者に対して、自己管理できるための教育方法を習得する。				
学習目標	1. 健康教育およびセルフマネジメントとは何かを理解する。 2. セルフマネジメント支援のために必要な構成要素について理解する。 3. セルフマネジメントのための対象理解に活用できる用語・概念を理解する。 4. セルフマネジメントを推進していくうえでの看護者の役割、看護方法、プロセスを理解する。 5. グループワークを通して、本科目及びこれまで学習してきた知識を関連・統合していく力を養う。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	※講義のガイダンス 1. 健康教育の基本的な考え 1) 健康教育の定義と目的 2) 行動変容を促すとは 3) 対象者の理解の重要性 4) 「環境」への働きかけ 5) 「モニタリング」の重要性 6) 健康教育における「評価」			講義
	2	2. 健康行動理論・健康教育に有用な概念 1) 理論・モデル活用の有用性 2) 本人と病気の位置関係の4つのモデル、健康信念モデル、病みの軌跡など			講義・ペアワーク
	3	3. 健康教育の方法 1) 系統学習と問題解決学習 2) 集団討議と集団決定 3) 健康教育の手順 4. セルフマネジメント支援 1) セルフマネジメントと社会的背景 2) 知識と技術の提供 3) セルフマネジメントのための主要概念 4) セルフマネジメントの支援で支障となること			講義
	4	5) “傾聴”についてロールプレイ 6) セルフマネジメントの過程 ～対象理解・援助方法・評価の仕; 5. 演習 <<5回目以降の演習についての説明>> 1) 1事例についてDVD視聴 2) 2点について検討し発表準備を行う。発表はロールプレイを取り入れる。 ①エンパワーメントするアプローチや、セルフマネジメント支援に必要な情報とアセスメント ②共同目標の設定、アクションプラン設定への援助			講義・ロールプレイ
	5	5. 演習 グループワーク			演習 グループワーク
	6・7	5. 演習 成果発表 1) 場面ごとにグループ発表 2) 質疑・応答 3) 教員よりまとめ 4) 成果発表に対する他者評価と振り返りのレポート			演習 発表・ロールプレイ
		試験			
使用教材	<<使用テキスト・視聴覚教材>> ①ナーシンググラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント メディカ出版 ②看護のためのアセスメント事例集 vol. 9 肝硬変症患者の看護事例(DVD)				
参考文献	① 松本 千明:健康教育パワーアップガイド 効果を高める32のヒント 医歯薬出版 …等				
成績評価の方法	筆記試験、課題の取り組み、授業態度を含めて総合的に評価する				
科目の発展性、	本科目は、労災病院の基本理念でもある「勤労者医療の推進」にむけ、勤労者看護教育の拡大と充実を図るものとしてカリキュラムに導入されました。生活習慣病の増加、高度医療の進歩に伴い、慢性的な病				

(西暦)年度 釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

勤労者医療
との関連

や障害を持ちながら生活する人々が増加しています。そのような人々を生活者として病気・障害と家庭生活、社会生活と折り合いをつけ、自分らしく生きていけるようにサポートしていくことが看護師の役割であり、「健康教育」「セルフマネジメント」がキー概念となります。

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		勤労者医療概論			
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	2年次	履修時期	後期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	副校長、事務長 がん看護専門看護師	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	社会の変化と発展の経緯から勤労者の健康と福祉について理解する。				
学習目標	1. 社会の変化と発展の経緯から勤労者の健康と福祉について理解する。 2. 勤労者の健康と労働について学び、治療と就労の両立支援について理解できる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	単元:勤労者医療概論 担当:事務長 1. 独立行政法人労働者健康安全機構の役割 機構の目的、機構の業務 2. 労働衛生(産業保健)の理解 労働衛生の歴史、労働者の健康障害、わが国における労働衛生の現状			講義
	2	3. 労働衛生行政 労働衛生行政の組織、労働衛生関連法規と労働衛生の展開 4. 労働衛生の課題と対策 職業性疾病の予防、労働者のメンタルヘルス、過重労働による健康障害 対策、女性労働者の健康管理、THP、安全衛生管理水準の向上			講義
	3	単元:勤労者看護 担当:副校長 1. 勤労者の看護・方法論 1) 勤労者看護の定義と対象範囲 2) 勤労者看護の役割 2. 職場復帰支援制度 1) 職場復帰支援制度が求められる背景 2) 事例をもとに考える 3) 職場復帰支援制度の現状			講義
	4	3. 治療と就労の両立支援～がん治療を中心に～ 1) 「がん治療」を中心に説明する理由 2) 事例を用いて両立支援を考える 4. 看護師に求められるがん患者の就労支援とは 1) 看護とがん患者の就労(仕事)患者にとってのがんと仕事 2) 就労支援につながる看護ケア 3) 就労支援に必要な知識 労働にまつわる法律、お金や医療保険にまつわる制度 4) がんの局面ごとの支援のポイント がんサバイバーシップと就労支援、治療期の支援			講義
	5	5 就労支援の実際(がん看護専門看護師担当)			講義
	6・7	V. 事例から見るがん患者の就労支援 がん看護専門看護師 いくつかのケースを提示し、個人ワークとグループワークから就労支援の実際を考える			グループワーク
	8	筆記試験			試験
	使用教材	勤労者医療概論(独立行政法人 労働者健康安全機構-勤労者医療に関する看護プロジェクト編著)			
成績評価の方法	筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		メンタルヘルスマネジメント			
教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	履修年次	2年次	履修時期	後期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	心理判定員	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	勤労者を取り巻く環境を理解しストレスマネジメントを学ぶ。				
学習目標	メンタルヘルス不全の予防方法や対処方法を習得する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	1. メンタルヘルスマネジメントについて 2. 授業全体のオリエンテーション 3. 関係行政(労働災害)、			講義 講義
	2	4. 働く人のストレスについて 5. ライフワークバランス 6. 職場のハラスメント 7. 対人援助職のストレス			講義 講義
	3	8. 自殺について 9. 年代別の自殺特徴 10. 疾患と自殺			講義
	4	11. 災害とメンタルヘルス			講義
	5	12. 生活(睡眠・運動・食事)とメンタルヘルスの関連			講義
	6	13. 性格とメンタルヘルス			講義
	7	14. メンタルヘルス不全予防のためのリラックス法			実習
		筆記試験			試験
使用教材					
参考文献	講義内で紹介				
成績評価の方法	筆記試験				